

単元ごとの指導と評価の計画・記録シート

科目名	生物基礎	学年類型	2年	単位数	2単位	1校時時間	50分
単元(小項目)名	神経系と内分泌系による調節 (体内環境の維持の仕組みー体液の循環と血液)					予定時間	4時間
単元の観点ごとの評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
体内環境と情報伝達について、体液の循環や赤血球の役割を理解しているとともに、酸素解離曲線の演習を介して、ヘモグロビンと酸素の体内での関係性をグラフに表すなどの技能を身に付けている。		体内環境と情報伝達について、酸素解離曲線を題材にしたロイロノートの演習を通して探究し、意見の共有により科学的に考察し、表現している。			体内環境と情報伝達に対して主体的に関わり、さらにロイロノートの使用により、効率よく学び、気付きを深め、科学的に探究している。		

時間	授業のねらい・学習活動	重点項目・記録			評価規準とその手段
		知技	思表	主態	授業チェックと改善方法
1	<ul style="list-style-type: none"> 循環系のイラストなどに色を付け、動脈、静脈の特徴を理解する。 体循環と肺循環、肝門脈など特徴のある血管について理解する。 	○			<ul style="list-style-type: none"> イラストに色を付けさせるなどして、配置などを分かりやすくする。 酸素が多い、老廃物が少ない、栄養分が多いなどそれぞれの血管の特徴をまとめさせる。 授業ノート点検
2	<ul style="list-style-type: none"> 体液の違いと血液の細胞成分について理解する。 心臓のつくりと、洞房結節による心筋の収縮について理解する。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 3種類の体液と、血液中の細胞成分を表などで分類させ、区別させる。 洞房結節の動画を視聴し、心筋の収縮の流れを理解させる。 授業ノート点検
3	<ul style="list-style-type: none"> ロイロノートを利用して、赤血球の役割とヘモグロビンの機能について理解する。 酸素解離曲線上で肺泡や組織を表し、その点におけるヘモグロビンの状態を理解する。 			◎	<ul style="list-style-type: none"> Hb と HbO₂ の違いについて説明することができる。 ロイロノートを使用して、問いに答えることができる。 ロイロノート上の課題の点検 <p>ロイロノートによる課題の提出状況や取組の実態はとてもよい。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> 防御反応としての血液凝固を理解する。 フィブリン、トロンビンなど血液凝固の仕組みを理解する。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 防御反応としての血液凝固を理解させる。 トロンビンの活性化について説明することができる。 授業ノート点検

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。